「下水道管更生技術施工展2018神戸」開催

篠田　康弘
SHINODA　Yasuhiro
(公社)日本下水道管路管理業協会
常務理事

1．出展数過去最大の開催

さる9月27日（木）に表記第18回施工展が，神戸市垂水処理場内の垂水スポーツガーデン多目的グラウンドにおいて開催された。前後の台風や豪雨に挟まれ，早朝の雨の水たまりの残る中ではあったが，関西支部の尽力もあって，晴れ間も覗く中で開催することができた。

この展示会は，各種更生工法や関連技術等を一堂に会しデモ施工を実際に見てもらい，その最新の技術を体で感じてもらおうと毎年全国を巡回して開催しているものである。今回は，関西において管更生工法の発注が大きく伸びる中での開催ということもあり，出展数も45社・団体と，過去最多の出展数となった。また，来場者数も1,500人を越え，1日開催では過去最多の来場者数となり，盛大なものとなった。

主催は当協会本部及び関西支部で，国土交通省近畿地方整備局，兵庫県，神戸市，関西地方下水道協会，(公財)日本下水道新技術機構の後援を得ることができた。

写真－1　開会式（テープカット）

写真－2　会場全景

2．開会式には森岡下水道部長が出席

開会式は，ミス日本水の天使の浦底里沙さんに司会をお願いし，ご来賓として国土交通省水管理保全局下水道部森岡部長をはじめ，近畿地方整備局建政部長，兵庫県県土整備部長とともに神戸市建設局長などがお忙しいスケジュールを縫って出席され，注目が集まる中での進行となった。主催者を代表しての当協会の長谷川会長及び関西支部長の挨拶に引き続き，各ご来賓の挨拶が行われ，各界からの管更生工法に対する期待が延べられた。テープカットの後は来賓方が各ブースを見回るなか，いよいよ実演開始となった。

出展団体を分類別に示したのが**表－1**で，管きょ更生・補修・改築技術が中心であるが，関連技術としての取付け管穿孔ロボットを始め，防食やマンホール，さらには調査等技術や安全衛生管理も多く出展され，管路管理全般の展示会の様相となっていた。実演は，1団体15分から30分程度の枠を設け，実機を用いたデモンストレーションも行われ，施工の手順や様子を実際に目で見て確認することができた。これにより，最新の技術や設備・機器の選択に当たって，大いに参考になった，という声が多く聞けた。

このほか，デザインマンホール蓋の展示を神戸市のご協力により会場内で行った。

表－１　分類別出展団体

分類	出展者
管きょ更生・修繕改築【15団体】	EX・ダンビー協会，EPR工法協会，ASS工法協会，SWライナー工法協会，FRP工法協会，FFT工法協会，オールライナー協会，㈠社)Kanaflex工法協会，3SICP技術協会，日本インシチュフォーム協会，日本SPR工法協会関西支部，日本スナップロック協会，パルテム技術協会，光硬化工法協会近畿地域支部，ポリエチレンライニング工法協会
マンホール修繕改築・ コンクリート防食被覆【8社・団体】	MLR協会，クリスタルライニング工法協会，JERコンクリート補改修協会，㈠社)セイフティーフラット工法協会，TM工法協会，長島鋳物㈱・全国パラボラ工法協会，日之出水道機器㈱近畿支店
管内洗浄・清掃【2社】	いすゞ自動車首都圏㈱，兼松エンジニアリング㈱
点検・調査・診断・解析・ 穿孔ロボット等【10社】	管清工業㈱，㈱カンツール，㈱キュー・アイ，㈱スワレント，大幸道路管理㈱，㈱南陽，㈱ビーエスエル，㈲ビッグバレイサービス，ペンタフ㈱，㈱北菱
安全衛生管理【5社】	イービストレード㈱・エビスマリン㈱，㈱重松製作所，新コスモス電機㈱，理研計器㈱
後援団体等【5社・団体】	㈶社)日本下水道協会，神戸市・兵庫県，㈶財)日本下水道新技術機構，ミズノスポーツサービス㈱

写真－３　会場風景（来賓の各ブース回り）

写真－４　高校生の見学

3. 関西下水道協会研修会の設定とガイドツアー，学生の見学

今回は，関西下水道協会にご協力いただき，自治体職員の研修会としても設定していただくことができた。これにより下水道協会から各自治体にご案内をいただき，バスによる送迎もあってか，奈良県及び大阪府下水道協会から多くの参加者を得ることができた。

また，今年も参加していただいた方に効率的に見学していただくため，午前午後それぞれ3つのグループを設け，関西支部会員によるガイドツアーを企画した。実演の時間にタイミングを合わせ，効率的に各工法分類を系統的に回れることから，多くの参加者が事前応募に応じており，多くの方々の参加を得て大変好評であった。

一方，これからの管更生の担い手として期待される工業高校生を，今年は2校（兵庫工業高校，東播工業高校）招待し，バスにて送迎を行った。これらの高校生には，下水道の役割や仕組みなどの説明を，各ブースを回る前に行った。この説明は，下水道界の若手職員からなるGKP未来会の提案によるもので，実際の説明もGKPにお願いした。高校生も若手からの説明で，下水道を身近に感じてもらえたものと思う。

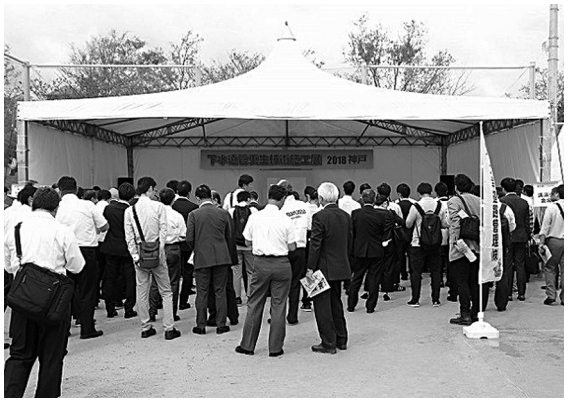
4. 講演会

併催行事として下表（敬称略）に示すような講演会を昼の時間に水の天使の浦底里沙さんの司会の下，特設テントにおいて行った。参加者はテントを溢れる状況で，写真等を用いた講演に熱心に聞き入っていた。

講演内容は，表－２に示すように下水道の改築事業全般から更生工法先進都市の事例を中心としたものであった。

表－2　講演会プログラム

『マネジメント時代の下水道事業』 国土交通省水管理・国土保全局下水道部長　森岡泰裕 様
『兵庫県の下水道について』 兵庫県県土整備部土木局下水道課 計画指導班主査　堀　恭平 様
『神戸市における下水道管きょの改築更新について』 神戸市建設局下水道部 管路課調査担当係長　安岡英之 様



写真－5　講演会の様子

図－1　2019金沢会場

5. おわりに

この展示会は，毎年当協会の7支部の持ち回りで開催されており，3巡目に突入している。

来年の開催場所は，中部支部の金沢市の西部緑地公園多目的広場にて開催することが決定している。金沢市での開催は，平成21年の台風により中止となった幻の第10回のリベンジ版であり，場所も同一箇所を予定している。

本年同様，近県の市町村や県内の工業高校にも声をかけ，バスによる送迎も検討しており，若さのエネルギーと賑わいのある施工展となることが期待される。北陸の地域に相応しい企画とするよう石川県部会や「修繕・改築委員会」,「施工展運営委員会」等において検討してまいりたい。

表－3　施工展開催実績

回数	開催都市	開催場所	開催日	出展数	入場者数
第 1 回	和泉佐野市	りんくうタウン	H13.12.06	19	923名
第 2 回	大阪市	コスモスクエア	H14.11.08	24	1,107名
第 3 回	広島市	海島博覧会場跡	H15.10.24	26	1,531名
第 4 回	名古屋市	名古屋市応急給水センター	H16.10.08	33	1,474名
第 5 回	佐賀市	どん3広場	H16.11.11	28	1,082名
第 6 回	塩竈市	JR本塩釜駅貨物ヤード跡地	H17.10.06	29	1,237名
第 7 回	小樽市	「小樽築港前駅」前JRヤード	H18.06.16	28	1,245名
第 8 回	松山市	城山公園内	H19.10.12	29	1,338名
第 9 回	三郷市	中川水循環センター	H20.10.9-10	28	2,346名
第10回	大阪市	コスモスクエア	H22.10.06	28	1,786名
第11回	福岡市	舞鶴公園西広場	H23.10.05	28	1,354名
第12回	新潟市	新潟市中央区鐘木地内	H24.10.03	34	1,236名
第13回	利府町	宮城県グランディ 21	H25.10.04	37	1,204名
第14回	札幌市	ケーズデンキ月寒ドーム	H26.9.18	29	1,164名
第15回	倉敷市	児島下水処理場	H27.10.22	35	1,438名
第16回	千葉市	千葉県流域下水道花見川処理場	H28.10.20	43	1,506名
第17回	青森市	青い森セントラルパーク（自由運動広場）	H29.10.05	40	1,029名
第18回	神戸市	垂水スポーツガーデン（多目的グラウンド）	H30.09.27	45	1,538名
第19回	石川県金沢市	西部緑地公園（多目的広場）	2019.10.03（木）	予定	